



# イズミ車体DX戦略2024

1. 経営ビジョン（トップメッセージ）
2. DX戦略
  - ① 経営基盤DX（経営基盤データマネジメントPJ）
  - ② 企業カルチャーDX
  - ③ サプライチェーンDX（SCMデジタル改革PJ）
3. 推進体制
4. 人材・環境整備
5. 指標・KPI（2026年）

# 1. 経営ビジョン（トップメッセージ）

## 2. DX戦略

- ① 経営基盤DX（経営基盤データマネジメントPJ）
- ② 企業カルチャーDX
- ③ サプライチェーンDX（SCMデジタル改革PJ）

## 3. 推進体制

## 4. 人材・環境整備

## 5. 指標・KPI（2026年）

# 1. 経営ビジョン（トップメッセージ）

近年、AIをはじめとする技術革新やグローバル経済の変動に加え、日本では少子高齢化の加速や労働生産人口の減少といった社会的課題が深刻化しており、持続可能な企業経営を実現するため、あらゆる産業で働き方改革やデジタル化の推進がますます重要視されています。

特に、DX（デジタルトランスフォーメーション）は、産業構造を変革し、業務の効率化や新たなビジネスモデルの構築に大きな期待が寄せられています。

当社といたしましても、経営ビジョンである「技術とまごころで社会の未来を創造する」の実現に向け、「イズミ車体DX戦略2024」を策定し、持続可能な経営体制の構築を目指しています。

このDXの取り組みを通じて、社員一人ひとりがものづくりを通じて顧客に価値を提供する喜びとやりがいを感じながら働ける環境を整え、データとデジタル技術を活用した業務プロセスの最適化を図り、社員、顧客、社会を含むすべてのステークホルダーから愛される企業を目指して変革を進めてまいります。

代表取締役社長 國武幸弘

1. 経営ビジョン（トップメッセージ）
2. **DX戦略**
  - ① **経営基盤DX（経営基盤データマネジメントPJ）**
  - ② 企業カルチャーDX
  - ③ サプライチェーンDX（SCMデジタル改革PJ）
3. 推進体制
4. 人材・環境整備
5. 指標・KPI（2026年）

## 2. DX戦略

### ① 経営基盤DX（経営基盤データマネジメントPJ）

社内および顧客データをリアルタイムで収集・統合・分析し、価値ある情報に変換できる基盤を構築します。これにより、データドリブンかつスピーディーな意思決定を可能にする環境を整備します。

この基盤を活用することで、事業収益の管理にとどまらず、マーケットトレンドの予測やリスク管理の精度を向上させ、“イズミ車体ならではの強み”を可視化します。

その結果、事業投資やマネジメントにおいて、迅速かつ的確な意思決定を行うことが可能となります。

point

施策

01

社内システムの刷新&クラウド環境の導入

02

全社統一のデータ基盤構築（データの収集・統合・分析）

03

BI（ビジネスインテリジェンス）ツール導入によるデータの見える化

04

データドリブン文化の醸成（会議・情報共有）

1. 経営ビジョン（トップメッセージ）
2. **DX戦略**
  - ① 経営基盤DX（経営基盤データマネジメントPJ）
  - ② **企業カルチャーDX**
  - ③ サプライチェーンDX（SCMデジタル改革PJ）
3. 推進体制
4. 人材・環境整備
5. 指標・KPI（2026年）

## 2. DX戦略

### ②企業カルチャーDX

従業員体験(EX)の質を向上させることが、当社のモットーである「まごころ」の総量を増やし、品質向上と顧客体験の最大化に繋がると信じて、その企業文化と仕組みづくりを実現します。

従来のやり方や考え方に固執せず、多様な価値観を尊重し、社員一人ひとりが自律的に課題解決に取り組み、変化を恐れず挑戦する人を称賛する企業風土を築きます。

さらに、デジタル人材の育成・採用や専門領域のスペシャリスト育成において、個々の強みや主体性を大切にしながら、当社の成長と社員の自己成長を両立させることで、生産労働人口の減少に打ち勝つ企業となります。

これらの企業風土と人材強化が新しいイズミ車体製作所の企業文化を形成し「未来のイズミ車体製作所」を創り上げます。

## 2. DX戦略

### ②企業カルチャーDX



1. 経営ビジョン（トップメッセージ）

## 2. DX戦略

①経営基盤DX（経営基盤データマネジメントPJ）

②企業カルチャーDX

③サプライチェーンDX（SCMデジタル改革PJ）

3. 推進体制

4. 人材・環境整備

5. 指標・KPI（2026年）

## 2. DX戦略

### ③ サプライチェーンDX (SCMデジタル改革PJ)

顧客接点から出荷まで、サプライチェーン全体をデジタル化し、リアルタイムで在庫状況や製造進捗、実工数などのあらゆる情報を自動で収集・分析することで、データに基づいた迅速かつ根拠のある意思決定を可能にします。

さらに、デジタルを活用した業務効率化と一部のプロセス自動化により、製造コストとリードタイムの最適化を図り、柔軟性のあるサプライチェーンネットワークを構築します。

IoTによる製造履歴データや原価データの収集

デジタルツール活用による製造原価データ管理と見積の自動作成

製造現場へのタブレット導入によるペーパーレス

製造に関わる書類や写真のクラウドを介した社内情報共有

IoT(バーコードなど)導入による在庫管理

1. 経営ビジョン（トップメッセージ）
2. DX戦略
  - ①経営基盤DX（経営基盤データマネジメントPJ）
  - ②企業カルチャーDX
  - ③サプライチェーンDX（SCMデジタル改革PJ）
- 3. 推進体制**
4. 人材・環境整備
5. 指標・KPI（2026年）

### 3. 推進体制

取締役会以下にDXプロジェクトチームを設置



1. 経営ビジョン（トップメッセージ）
2. DX戦略
  - ①経営基盤DX（経営基盤データマネジメントPJ）
  - ②企業カルチャーDX
  - ③サプライチェーンDX（SCMデジタル改革PJ）
3. 推進体制
- 4. 人材・環境整備**
5. 指標・KPI（2026年）

## 4. 人材・環境整備

デジタルツールへの投資

社内デジタル人材の育成  
(ITリテラシー教育など)

4つの  
Point

外部人材の活用

デジタル人材の採用

1. 経営ビジョン（トップメッセージ）
2. DX戦略
  - ①経営基盤DX（経営基盤データマネジメントPJ）
  - ②企業カルチャーDX
  - ③サプライチェーンDX（SCMデジタル改革PJ）
3. 推進体制
4. 人材・環境整備
5. 指標・KPI（2026年）

## 5. 指標・KPI (2026年)



# 2026

検診車の製造原価  
データ100%収集

デジタル人材の採用2名  
(orデジタル関連資格取得者2名)

従業員エンゲージ  
メントスコア20%UP

通年週休2日制の実施  
(or年間休日120日)